



## たくさんの歓声が響いた 第26回あそ雪の広場

当別の冬の風物詩、あそ雪の広場が同実行委員会の主催で今年も開催され、7,000人の入場者で賑わいました。

会場の阿蘇公園には、ふくろう滑り台が登場し、子どもたちが歓声を上げながら何度も滑り降りていました。また、ステージでは玉入れ競争や子ども綱引きで白熱した戦いが繰り広げられたほか、ふとみ元風会のよさこい、子どもジャズダンスが踊りを披露し、イベントを盛り上げました。16日の夜には、花火が打ち上げられ、当別の夜空を彩りました。この他に、町内各小学校対抗のこども雪像コンクールも行われ、当別の冬を楽しみました。  
(2月16日・17日)



こども雪像コンクール最優秀賞  
当別小学校3年生「怪獣の滑り台」



# 広 告

白熱！ Jr スキーレース



第26回当別町ジュニアスキー大会が当別スキー連盟の主催で石狩平原スキー場にて開催。

町内のほかに近隣の市町村からも参加があり、アルペンスキーの大回転種目でコンマ1秒のタイムを競いました。

レーシングスーツに身を包み、ヘルメットを被った子どもたちが、果敢にポールの内側を攻める姿に、父母からも熱い声援が送られました。表彰式では、メダルを貰って喜ぶ笑顔が見られました。

(2月23日)

心をこめた作品が並ぶ



当別中学校ときわ学級に通う6人の仲間が1年間の授業で作った作品発表をするために「やさしい風展」をふれあい倉庫で開催しました。木の棒を使ってどうやったら安定して立たせることができるかを考え、試行錯誤を繰り返しながら作った家や、絵の具、クレヨン、墨汁を使って工夫を凝らした作品が並べられていました。

会場のメッセージボードには、気持ちがかもった作品に暖かいコメントが寄せられていました。

(2月19日～24日)



# 告 白